

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	進行大腸癌における EBP50 発現の機能解析/B21-214
当院の研究責任者 (所属・職位)	医療衛生学部病理学 講師 松本俊英
調査データ 該当期間	2016年4月1日から2021年4月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	2016年4月1日から2021年4月30日までの間に進行大腸癌で当院に入院され手術を施行された方です。
研究の方法 (使用する試料等)	大腸癌は2018年には我が国で年間およそ15万人が診断されており、その罹患数は男性で前立腺癌と胃癌に次いで第3位、女性で乳癌に次いで第2位、総数で見れば第1位と日本人にとって極めて身近な癌腫の一つです。進行大腸癌の癌組織の多くの領域ではたんぱく質の一種であるEBP50が発現しているのに対して、その浸潤先進部においてEBP50の消失が見られることに着目し、臨床像と対比し、脈管侵襲やリンパ節転移、臨床病期や予後因子との関連について検討を行います。これらはMann-WhitneyのU検定及びSpearmanの順位相関を用いた統計解析により検証します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関する資金源は、科研費(基盤研究Cや若手研究)、学内研究費(医学部けやき会助成や学術奨励研究)、および民間の研究助成金(黒住医学研究振興財団)です。利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されます。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:北里大学医学部 病理学 教授 担当者:三枝 信(サエグサ マコト) 電 話:042-778-9853

備 考

データの二次利用を行う場合は、新たな研究計画について 倫理委員会の承認を得ることとします。